事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画) 21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 30 日 作成													
事務事業名 生活管理指導短期宿泊事業							マニフェスト 関連	全庁横即題関		集中改プラン関			
総合	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり					部 健康福祉部課 高齢者支援		課長名 担当者名				
計画	施策	16 高	齢者・障がい者の	の自立促進と	社会参加	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	所属班 高齢者保険班 (内線) 2114						
体系	基本事業	49 高	高齢者の介護予防の充実				法令根拠						
	予算科目		数 項 目 1 1 2	事業連番 10473	年度で終了	で終了 21年度から開始 成果優先度評価結果 8 コハ削減優先度評価結果 -							
事	事業期間 □ 単年度のみ ▼ 単年度繰返(開始年度 12 年度) □ 期間限定複数年度 ( ~ 年度) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												
【事業の内容】 社会適応が困難な高齢者を特別養護老人ホーム等に短期間入所させて、日常生活に対する指導及び支援を行い要介護状態への進行を予防する。 日常生活・家事・対人関係構築のための支援・指導及び関係機関との連絡調整 【業務の流れ】 事業所委託契約締結、高齢者生活管理指導事業申請書の提出後、その必要性等を調査し(実態調査)利用の可否を決定する、ケア会議、支払い。 【主な予算費目】 委託料													
	現状把握の部( 事務事業の目的		N)										
① 手段(主な活動)													
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 社会的適応が困難な高齢者を特別老人ホーム等に入所させて、日常生活の指導、支援を行う。													
2	対象(誰、何を対 会適応が困難な高				$\Rightarrow \frac{r}{1}$	(単位) ア 実態調査数 件 (「単位) ア 実態調査数 件 (「単位) イ 事業を利用した高齢者数 人 (「⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 要介護認定を受けていない高齢者 人							
3	意図(この事業)	こよって、	対象をどう変える	つのか)		<b>プ</b> イ ⑦成り	見指標(意図の	達成度を表す	指標)=③の	指標	(単位		
在	宅で生活できるよう	iになる。				⇒ア	在宅で生活で	きるようになった	こ人数		人		
_	上位の目的(さり 東である。	らにどんな	目的に結び付け	けるのか)			立成果指標(上 高齢者に占め			票)=④0	)指標 (単位 <b>%</b>		
(2)	総事業費·指標	等の推移				<u> </u>							
			2 4/12(10 4217	19年度 実績(決算)		2 4/12((0 421)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	-	全体計画 ~ 年度		
	国庫支 財 都道府県3	支出金 千	円 円		12 6	•	12 6	12 6	12 6	期			
	源 地方 事 内 その				25		24	24	24	間限点			
投	業 訳 繰入 費 一般則				6		7	7	7	上 複数			
入量	(A)事業	費計千	円 0	0	49	0	49	49	49	タルコ			
	うち時間外、特別 人 正規職員従事	集勤務手当 千		2	2	2	2	2	2	コスト			
	件 延べ業務時	寺間 時	間 9	9	9	8	9	9	9	ト記載			
	費 (B)人件費 トータルコスト(A)	)+(B) 千	円 36	36		32	36 85	36 85	36 85	- 戦			
	活動指標	イ   /	\$ 5 0	0	2	0	5 2	5 2	5 2	目総			
	対象指標	ア <i>ノ</i>	8631	8842	8675	8465	8600	8725	8800	標合数計			
	成果指標	アノイ	0	0	1	0	1	1	1	値画			
	上位成果指標		6 0.4	4.96	3	4.5	3	3	3	<b>22</b> 年度			
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成12年度より、地域ささえあい事業として開始した。													
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?利用者はほとんど居ない。													
	この事務事業に こ聞いていない。	対して関	孫者(住民、議会	会、事業対象を	者、利害関係	者等)からどん	んな意見や要	望が寄せらえ	にいるか?				

	事務事業名	生活管理指導	短期宿泊事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課				
2			である。ただし複数年の事後評価、ただし複数年				- End				
	(1)政策体系との整 	<b>圣</b> 合性	<ul><li>□ 見直し余地がある ⇒【野</li><li>☑ 結びついている ⇒【野</li></ul>	理用】 <b>シ</b>	⇒3評価結果の総括	(SEE)	- 反映				
	この事務事業の目的は市の	の政策体系に結びつく	社会適応困難な高齢者が日	常生活・家		ようになる	。社会適応困難な高齢者が対人関係				
	か?意図することが結果に	- 結びついているか?	が構築されることにより、健康	であるに新	きびつく。						
目的	<ul><li>② 公共関与の妥</li></ul>	当性	<ul><li>見直し余地がある ⇒【理</li></ul>	申    ラ	⇒3評価結果の総括	(SEE) k	万映				
妥			▼ 妥当である   ⇒【野	里由「ラ							
当性	なぜこの事業を市が行わな 税金を投入して、達成する	なければならないのか? 目的か?	住み慣れた地域で在宅で生活	舌できるよう	うに支援することは、税金	を投入して	ても妥当と思われる。				
評											
	③ 対象・意図の多	妥当性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映								
	製品を明ウ 泊加み ごもん	0.辛回大明宁,长大十	<ul><li>☑ 適切である ⇒【理由】</li><li>→ ★ 第</li></ul>								
	べきか?	・: 息凶を脉及・拡光 9	対象意図とも適切である。								
	④ 成果の向上余	地	☑ 向上余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映								
	成果を向上させる余地はあ	らるか?成果の現状水	□ 向上余地がない ⇒【理由】 つ 事業内容を工夫することにより、向上余地がある。								
	準とあるべき水準との差異 成果向上が期待できない。		テルロロモーステルビになってはエルビルのの。								
		4日 の影響	日/郷一 八四十		01左座到南/01左座	)로취 교리 v	ナンフナム(T手L) (DLANI)				
有	⑤ 廃止・休止の原	以来への影響	<ul><li>□ 影響無 ⇒【理由】</li><li>□ 影響有 ⇒【その内容】</li></ul>	<u>⊅</u>	21年度計画(21年度	に計画し	ている主な活動)(PLAN)				
效		場合の影響の有無とそ	▶ 影響有 ⇒   での内容   ▼								
性											
評価	<ul><li>⑥ 類似事業との</li></ul>	を 感合・ 連携の		目体的な	手段,事務事業)						
Iμ	可能性		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	77 HH 1/4	1 校, 尹幼尹禾/						
	目的を達成するには,この 法はないか?類似事業との		□ 統廃合・連携ができる		申】 → 3評価結	果の総括	(SEE)に反映				
	類似事業との連携を図るこが期待できるか?										
	ル·知付 (50//· !		工力自任应期旧力争未がは、	いみるこれが	女になりに同断行がい	그 성 다 저 / 나	W. CG/20.°				
				里由】 🥒							
	⑦ 事業費の削減	余地		里申】る	⇒3評価結果の総	活(SEE	)に反映				
١	成果を下げずに事業費を削		↑護保険制度に準じて一部負		らっているため。						
郊率	様や工法の適正化、住民の	の協力など)			-						
性		医数時間)の割	<ul><li>□ 削減余地がある ⇒【野</li></ul>	里由】つ	→3評価結果の総	(CEE	//= 巨帅				
評	減余地	₹4为时间)/ V / H1		•	一つ計画和木の税	31日 (OEE	7 (二)及 咬				
佃	やり方を工夫して延べ業務		<ul><li>✓ 削減余地がない ⇒【理由】</li><li>委託で行っているため。</li></ul>								
	か?成果を下げずにより正 託でできないか?(アウトソ										
か	<ul><li>⑨ 受益機会・費月</li></ul>	用負担の適正	<ul><li>見直し余地がある ⇒【野</li></ul>	里由 1 57	→3評価結果の総	括(SEE	)に反映				
	化余地	1,7,1,1,7,2,11	<ul><li>✓ 公平・公正である ⇒【類</li></ul>		, O11   m//d / (C-2 / hd	.15 (022	71-220				
性	事業の内容が一部の受益 ではないか?受益者負担	者に偏っていて不公平 が公平・公正になって	ケア会議で審査しているため	•							
評価	レンスカック	V ZI ZIERCA									
_	評価結果の総括の	(SEE)									
(1	) 1次評価者として	の評価結果		(2)	)全体総括(振り返り、	反省点)					
	<ol> <li>目的妥当性</li> </ol>	上 ▶ 適	「切 □ 見直し余地あ	n	特別養護老人ホームに	短期的に	入所させ、規則正しい生活習慣と体調				
	② 有効性		[切 ☑ 見直し余地あ		を管理する方法を工夫						
③ 効率性											
	④ 公平性	☑ 遒	9)     兄直し宗地の	9							
	今後の方向性(事										
_			案)・・・複数選択可	□ 車業の	nぬN士み美(右為州み)	<b>牟</b> )	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)				
原止   休止   目的再設定   事業統廃合・連携   事業のやり方改善(有効性改善)   (廃止・休止の場合は記入不要)   事業のやり方改善(効率性改善)   事業のやり方改善(公平性改善)   コスト											
	現状維持(従来通り	で特に改革改善									
	市内の介護度が高い特別養護老人ホームに事業を委託しているが、自立した入所者がいる身体的に同じ状態の市   外の養護老人ホームへの委託も必要である。										
果様持											
(0) 14世 14											
	(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 利用者の理解と施設職員が根気よく対応することが必要である。										
<u>_</u>	事務事業貢献度	評価結果(協策	の統括課長の総括)								
	事物事来兵献及   目的の直結度	5 5	(直結度高い	1~3	直結度中 4~6	直結り	度低い 7~9 )				